

横浜はじめて物語 — ラブリー横浜散策 —

講師 シマダマサコ = 嶋田昌子 (横浜ボランティアガイド協議会会長)
 時間 = 10:30 ~ 12:00
 受講定員 = 30 人
 受講料 = 7,500 円

教材: 年表 ¥200 (税込)

〔希望者のみ第 1 回受付で販売します。〕

ご持参いただくもの: 筆記用具、年表 (前年度までに本講座で
 購入された方は、ご持参ください。)

スケジュール

- ① 6月 4日 (木) 開港場の夢
- ② 6月11日 (木) 人力車で訪ねた横浜
- ③ 6月18日 (木) フィールドワークⅠ 港
- ④ 6月25日 (木) 女性たちの横浜
- ⑤ 7月 2日 (木) フィールドワークⅡ 山手
- 7月 9日 (木) 予備日

※第3回と第5回のフィールドワークは、現地集合・現地解散(所要
 時間2時間程度)となります。詳しくは講座の中でご説明します。

※予備日は、フィールドワークが天候により催行できなかった場
 合の振替日です。

講座内容

ペリーが横浜の地に来航したのは 1854 年、日米和親条約
 がこの地で結ばれ、1859 年には横浜が開港しました。開国・
 開港の舞台となった横浜には、多くの外国人が訪れ、住み、
 彼らと接した中から数々の「もののはじめ」も生まれました。
 港にやってきた人々はどのような夢を抱いていたのでしょうか。
 人力車で旅をした外国人の目に映った横浜の情景はどんな
 ものだったのでしょうか。そして日本人との交流は……当
 時の横浜を浮世絵や写真を使いながら講座を進めます。

港では、ペリーが上陸し、やがて開港場となった象の鼻地
 区の整備も終わり、昔の岸壁が姿を見せます。山手では新た
 にアメリカ山がオープン、丘を上らずに行くことが出来ます。
 横浜開港 150 周年を祝う雰囲気味わいながら昔をしのぶ
 フィールドワークもお楽しみください。

講師プロフィール

横浜市出身。日本女子大学助手、市教育委員会社会教育指導員など
 を務め、学習講座の企画運営、CATV の番組制作など地域活動に従
 事。92 年横浜シティガイド協会を創設、以後 15 年に亘り会長を
 務め、現在、横浜ボランティアガイド協議会会長。『よこはまを生
 きる女たち』『横浜開化錦絵を読む』(いずれも共著) など著書多数。